



産業廃棄物処理計画書

2024年 5月 25日

豊田市長 殿

提出者

住 所 愛知県豊田市渡刈町下糟目146番地
氏 名 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社
豊田事業所 所長 宮澤 敏孝
電話番号0565-25-9335

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社 豊田事業所
事業場の所在地	愛知県豊田市渡刈町下糟目146番地
計画期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高：2,633百万円
③従業員数	87人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・木くず⇒再生処理業者に委託し、破砕された後、燃料等再生資源化 ・木くず⇒再生処理業者に委託し、破砕された後、堆肥として再生資源化及び埋立 ・汚泥⇒再生処理業者に委託し、脱水固化後、再生資源化及び埋立 ・がれき類⇒再生処理業者に委託し、破砕された後、再生資源化 ・混合物⇒再生処理業者に委託し、選別・破砕された後、再生資源化及び埋立 ・廃プラスチック類⇒再生処理業者に委託し、破砕された後、サーマルサイクルとして再資源化及び埋立処分 ・廃油⇒再生処理業者に委託し、油水分離後、再燃料化及び焼却・埋立処理 ・燃殻⇒再生処理事業者に委託し、焼却された後、再資源化 （日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

所長 (廃棄物処理統括責任者)
↓
課長 (廃棄物処理責任者)
↓
工事担当 (産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2023年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・ 雑草及び雑木の育成・抑制工事 (マルチング・コンクリートシート工) ・ 排水設備の修繕 (排水を良くすることにより集積量を減らす)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 従前の取組を継続実施していく ・ マルチング及びコンクリートシール工を継続して行う ・ 排水設備の修繕を継続して行う		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃油、廃プラスチック類、金属くず、がれき類はそれぞれ分別し、保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 従前の取組を継続実施していく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・ 出来る限り再生利用業者に処理委託を行い、処分量の軽減をはかる		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・従前の取り組みを継続し総排出量に対する再生施設への搬出量の割合を増加し、再生資源化率を高める		
	※事務処理欄		

商業廢棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥（汚泥・建設汚泥）	混合物（アスベスト・陶磁器・ガラス・木・石膏）	廃プラ類	木屑	廃油類（廃油マッド・油泥）	燃焼	廃電池	蛍光灯
	排 出 量	659.85 t	696.73 t	118.61 t	36.7 t	1,221.58 t	2.25 t	1.05 t	0.34 t	0.007 t
	・（これまでに実施した取組） ・過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・雑草及び雑木の育成・抑制工事（マルチング・コンクリートシート工） ・排水設備の修繕（排水を良くすることにより集積量を減らす）									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥（汚泥・建設汚泥）	混合物（アスベスト・陶磁器・ガラス・木・石膏）	廃プラ類	木屑	廃油類（廃油マッド・油泥）	燃焼	廃電池	蛍光灯
	排 出 量	593 t	627 t	106 t	33 t	1,099 t	2 t	1 t	0.3 t	0.1 t
	・（今後実施する予定の取組） ・従前の取組を継続実施していく ・マルチング及びコンクリートシート工を継続して行う ・排水設備の修繕を継続して行う									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥（汚泥・建設汚泥）	混合物（アス・金類・炭酸系・その他・その他）	廃プラスチック類	木屑	廃油類（廃油マート・油泥）	燃殻	廃電池	蛍光灯
	全処理委託量	659.85 t	696.73 t	118.61 t	36.7 t	1,221.58 t	2.25 t	1.05 t	0.34 t	0.007 t
	株式会社処理業者への 処理委託量	44.39 t	496.29 t	21.68 t	0 t	873.79 t	2.25 t	1.05 t	0.34 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	615.46 t	200.44 t	96.93 t	36.7 t	347.79 t	0 t	0 t	0 t	0.007 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 過大な廃棄物を発生させないための工程及び工法管理 ・ 出来る限り再生利用業者に処理委託を行い、処分量の軽減を図る									

		【目標】
--	--	------

②計画	産業廃棄物の種類	紙類類	汚泥(汚泥・建設汚泥)	廃食物(食品・家庭ゴミ・畜産・ゴミ・木・プラ)	廃プラ類	木屑	廃油類(廃油・マツ・油泥)	燃殻	廃電池	蛍光灯
	全処理委託量	593 t	627 t	106 t	33 t	1,099 t	2 t	1 t	0.3 t	0.1 t
	種別別処理業者への 処理委託量	39 t	446 t	19 t	0 t	786 t	2 t	0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	554 t	181 t	87 t	33 t	313 t	0 t	1 t	0.3 t	0.1 t
	認定焼却施設業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定焼却施設業者以外の 焼却場を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)									
	・ 従前の取り組みを継続し総排出量に対する再生施設への搬出量の割合を増加し、再生資源化率を高める									